



■新潟港（西港地区）航路泊地付帯施設

信濃川の河口に位置する新潟港（西港地区）は、港湾機能を維持するために港内の維持浚渫が必要となっています。浚渫による土砂を処分するために、航路泊地付帯施設が建設されており、当工事は、その付帯施設の護岸に使用されるケーソン20函（幅8.2m、長さ25m、高さ9m、重量1,400t）を、約6か月という短期間にドライドック内で製作しました。今後、このケーソンは船で曳航されて設置される予定です。

視点

- 2 ー土木技術の昔・今・将来を考えるー
■一般社団法人 石川県建設業協会 副会長
小倉建設(株) 代表取締役会長 小倉 淳

地域の動き

- 3 入善黒部バイパスのバイパス区間全線開通について
入善黒部バイパスがつながりました
■北陸地方整備局 富山河川国道事務所
- 5 小木～直江津航路に高速カーフェリー「あかね」就航
佐渡島を支える港湾
■新潟県 佐渡地域振興局 地域整備部

技術レポート

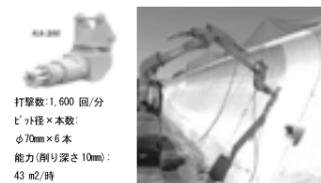
- 7 国道289号、6号TN坑口部での地すべり対策に対する調査・設計
トンネル坑口部での地すべり対策について
■長岡国道事務所
- 9 中越地震の復旧より10年経過
高速道路からの再生加熱As混合物の検証
■東日本高速道路(株) 新潟支社 技術企画課
- 11 小川地区海岸 離島海岸高潮対策(推進費)護岸工事
波返直立堤プレキャスト化ブロック工法について
■(株)近藤組
- 13 国道289号 7号トンネル工事
坑口の地すべり対策について
■西松建設(株) 八十里トンネル出張所



テープカット、園児による
バルーンリリース▶P. 3



佐渡インフォメーションセンター
「あいぼーと佐渡」▶P. 5



打撃数:1,600回/分
ビット径×本数:
φ70mm×6本
能力(削り深さ10mm):
43 m²/時

機械によるはつり作業状況▶P.11



補強土による押え盛土(斜方向)▶P.13

シリーズ 現場技術者の「知得」

- 17 「北陸地方建設リサイクル推進計画2015」の策定
ー北陸地方建設副産物対策連絡協議会の取り組みについてー
■北陸地方整備局 企画部 技術管理課
- 19 平成27年度北陸ブロック発注者
協議会の取り組みについて
■北陸地方整備局 企画部 技術管理課

職場紹介

- 21 「人」と「技術」がひとつになって、まちをつなぎ、みちをまもる。
確かな技術力を背景に社会のニーズに対応するカンパニー
■東亜道路工業(株) 北陸支社

先輩なう！

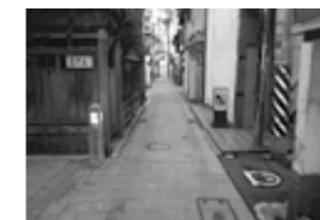
- 23 安全・安心・快適・便利な高速道路の維持管理
■東日本高速道路(株)新潟支社 湯沢管理事務所 施設担当 高麗 藍さん

新技術情報

- 27 NETIS 登録技術
■平成26年度 登録技術
- ・RC連結ジョイント
【登録番号：HR-140022】 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)
 - ・在来植物による飛砂防止緑化工法はまみどりマット
【登録番号：HR-140023】 グリーン産業(株)



富山会場とTV会議による開催状況
▶P.19



古町小路の自然石の景観舗装▶P.21



関越トンネル水噴霧設備点検の様子
▶P.23



「RC連結ジョイント」
温度変化に対する橋体の挙動▶P.27



「在来植物による飛砂防止緑化工法
はまみどりマット」▶P.27

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp